

建設業の仕事に興味

名取市増田中学校
生徒が職場訪問
大豊建設東北

大豊建設東北支店(大隅健一支店長)は9日、宮城県名取市増田中学校からの職場体験の依頼に応え、同校生徒による職場訪問に全面協力し、仙台市青葉区の東北支店と



塩釜市の雨水ポンプ場築造工事の現場見学会を行った。

訪れたのは、同校2年生の永松史遠君ら男女5人。大隅支店長は「建設業は様々な職種の人が集まって成り立っている。職場訪問では、いろいろなことを聞いてもらい、自分たちの将来の夢の実現につなげてほしい」と

歓迎。支店内の総務、工事(土木、建築)、営業部の各部署を見学したあと、横江保人総務課長、浅田潤一土木工務課長、奥裕美建築工務課長が、同社の歴史、業務内容などについて説明した。

「仕事で楽しいと感じるときはどういうとき」「建設した有名な建築物は何」など、生徒たちからの質問を受け、対応した各担当者は「工事が完成して感謝され、人のために役立っていると思っただけが楽しい」と応じた。

このあと、塩釜市内の牛生雨水ポンプ場(土木)築造工事現場を見学、同社の吉田聡所長らが案内した。